

表紙について 出石の“皿そば”

～「挽きたて、打ちたて、茹でたて」で召しあがれ～

"出石"と言えば、"皿そば"ですが、その写真だけでは、物足りない。そこで、"ソバ栽培"はと相談すると、出石町の口小野地区などで、ソバを栽培されている中務喜紹さんを紹介され、取材させていただき苦労話もお聞きすることができました。

一般的には、夏に種を蒔けば、肥料も少力で済み、約3か月で収穫でき、比較的栽培は容易とされています。しかし、栽培歴16年の中務さんは、全滅の経験もしたとのこと。

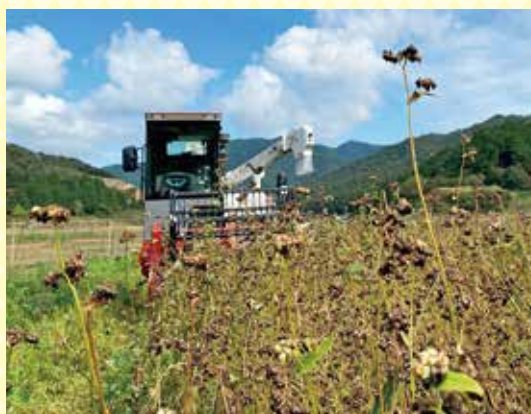
但馬でのソバ栽培はそう簡単でなく、土地に合った品種を経験から探り出し、もともと水捌けの良い土地か、水捌けを良くした土地に、盆明け頃に種を蒔き、10月末の適時に刈り取りをします。ソバは湿害に弱く、台風など大雨や強風から、ソバを守るには大きな苦労があるとのこと。「ソバ栽培は簡単ではないが、栽培の条件を共有し栽培仲間を増やしていきたい」と決意も話されました。

こんな苦労のお陰もあって、おいしい"皿そば"が食べられる幸せを感じました。

(農業委員 中島 覚)



ソバの花が満開



いよいよ収穫のとき



全国農業新聞を購読してみませんか!

農業の最新情報を提供

週刊(毎週金曜日発行) 月700円
(送料、消費税込)

*お申し込みは
農業委員会事務局または、
地元の農業委員・推進委員
まで

編集後記

地球温暖化が進んだのか、近年は春先の低温や、集中豪雨、夏場の高温など異常気象が、農作物の生育にたいへんな影響を与えています。昨年も収穫量の減少や品質の低下が発生し、コシヒカリの1等比率は約50%となり、農家所得に大きく影響しました。また、新型コロナウイルスの影響による外食産業の需要の減少で米の需給緩和がすすみ、価格が下がっており、令和3年産の米価についても下落が懸念されています。

農業は国民の食料生産を担っています。その作物を生産する農地を守るため、私たちは農業者の皆さんと一緒に知恵を出しあって活動をしなければなりません。

皆様のご協力と応援を今後ともよろしくお願いいたします。この但馬の素晴らしい自然を子ども達に残していきたいと思います。

最後に、この農業委員だよりの作成にご協力いただいた皆さんに心から感謝しています。至らない点もあつたかと思いますが、最後までお読みいただきありがとうございます。

(編集委員長 仲川弘之)



農委だより第48号は私たちが担当しました。

後列左から 和田委員、上坂委員、大谷委員、大坪委員
前列左から 高尾委員、仲川委員、中島委員